

東京

「其の口」暮らし

＝ドイツ編＝



水のこと

新しい家に住み始めて1ヶ月が経とうとしています。今度の家は共同で使用できる庭があり、手入れは1階のマルクスさんとマヌエラさんご夫婦がしてくれているのです。いまはサクラランボ、イチゴ、ヨハネスベリー（フサスグリ）が色付き始めていますが気温が低いせいか食べ頃になるにはもう少しかかりそうです。友達の家の庭にはリンゴと梨、ブラックベリーもありました。ドイツの庭には果物のなる木や草が普通に植えられていて、子供達は庭で遊びながらおやつ代わりにリンゴやベリーを食べているのです。そんな庭の隅に巨大な緑色のポリバケツのような物があります。大きめの庭のある家ではよく見る物なのですが、これは雨水をためておくための天水桶なのです。これは防火用ではなく庭の水やり用です。特に意識をしていませんでしたがこれにはドイツの水道代が高いと言うことと関係しているようです。

ドイツでは家賃の中に共益費として水道代・暖房費・ゴミ代・税金などが主に含まれており水道代、暖房費は前の住人が払っていた料金を基本として支払います。もちろん使用量は個人によって違うので差額が発生してきますが、年に一回行われる検針までいくら差額がでるか分からないのです。特に水道代は高く、節水を心がける人が多い気がします。毎日湯船にタップリとお湯を張ってお風呂に入る日本人が水道代の追徴で500ユーロ支払ったという話はドイツ情報をインターネットで探せば頻繁に出てくるテーマですし、現に私の友人も朝晩シャワーを使っていたら1000ユーロも追徴請求されたと嘆いています。私も以前は家事をするときに気にせず使っていました。ある時大家さんから「水道メーターが壊れているのではないか？」と心配されるほどの水道使用量だったようで、追加で500ユーロ近く支払いました。月ごとの検針・支払いならそれほどダメージは深くない気がしますが、まとめて請求がくるのでとてもダメージが大きい。ドイツ人はいったいどうしているのだろうか？と思いついてみました。例えばお風呂では湯船が無い家も多くシャワーが主流になっていたり、健康維持と水代を節約するためにスポーツジムに毎日通い、そこでシャワーも済ます人もいるとか。洗濯機も少ない水



ヨハネスベリー

で洗うタイプだそうで、1度の洗濯で2時間近くかかります。(電気代の方がかかる気がします)・・・)また、ドイツでの食洗機の普及率は高く、ほとんどの家庭に付いています。食洗機は少ない水で効率よく洗うように出来ているらしく手洗いよりも経済的だそうです。私は新しい家で初めて食洗機を使いましたが、経済的云々よりも「世の中にはこれほどまでに便利な機械があるのか!」と感動しました。そんな厳しい水事情の下たくさん木が植えてある家では、雨水もきっちり使えるように工夫しているのです。



庭にある天水桶

PUKI | PUKI | N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞